

ミナミキイロアザミウマ (Melon thrips)

Thrips palmi Karny



ナス果実の被害



幼虫

発生生態

体長が1mm程度の細長い鮮明な黄色の微小害虫で、ナス科、ウリ科作物の葉に産卵します。発生初期は、葉の主脈に沿いかすり状の白い斑点を生じます。寄生密度が高まると白斑部が拡大し、その後、葉縁が褐変、枯死します。ナス果実では、がく下から縦の傷痕が付き、キュウリ果実では、果面がでこぼことなったり、縦の条斑が生じたり、曲がり果となることがあります。露地では越冬できず、施設内で越冬します。

防除対策

防虫ネット被覆、除草、シルバーポリマルチや紫外線カットフィルムが有効です。葉の主脈沿いに白斑点を認めたら、直ちに登録のある薬剤を散布しましょう。ただし、薬剤抵抗性の発達を避けるため、ローテーション防除に努めましょう。また、低密度時の天敵放飼も有効です。